

# 広島県感染症発生動向週報

[広島県感染症予防研究調査会]

## 1. 五類定点疾患週報情報

令和7年第26週(令和7年6月23日～6月29日)【速報】

No.	疾患名	週間報告数	定点当たり	過去5年平均※1	発生記号	No.	疾患名	週間報告数	定点当たり	過去5年平均※1	発生記号
1	急性呼吸器感染症(ARI)※2	4,167	43.86	-	→	11	突発性発しん	7	0.12	0.33	↓
2	インフルエンザ ※3	20	0.21	0.23	↓	12	ヘルパンギーナ	52	0.90	0.82	↑
3	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	97	1.02	-	→	13	流行性耳下腺炎	11	0.19	0.07	
4	RSウイルス感染症	11	0.19	1.36		14	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.02	
5	咽頭結膜熱	45	0.78	0.53	↗	15	流行性角結膜炎	22	1.16	0.46	→
6	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	161	2.78	1.25	↗	16	細菌性髄膜炎	1	0.05	0.02	
7	感染性胃腸炎	323	5.57	4.12	↘	17	無菌性髄膜炎	1	0.05	0.02	
8	水痘	5	0.09	0.11	↓	18	マイコプラズマ肺炎	9	0.45	0.04	
9	手足口病	29	0.50	2.49	→	19	クラミジア肺炎 ※4	0	0.00	0.00	
10	伝染性紅斑	116	2.00	0.01	→	20	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.05	0.00	

※1 過去5年間の同時期平均(定点当たり) ※2 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、医師が感染症を疑う外来症例に該当する患者数を計上(他の定点把握疾患として報告されている患者数(No.2～6及び12)を含む) ※3 鳥インフルエンザを除く ※4 オウム病を除く

### 発生記号(前週と比較)

	ARI定点(内科)	ARI定点(小児科)	眼科定点	基幹定点
疾患No.	1～3	1～13	14,15	16～20
定点数	37	58	19	20

急増減	↑	↓	1 : 2 以上の増減
増減	↗	↘	1 : 1.5 ~ 2 の増減
微増減	↗	↘	1 : 1.1 ~ 1.5 の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

対象疾患名	警報開始基準	警報継続基準	注意報開始基準	県内の発令状況	保健所別の流行状況(定点当たり)						
					西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
感染性胃腸炎	20	12	-	警報発令(R7.3.13発令)	2.86	8.80	12.80	1.00	6.59	0.89	5.57
伝染性紅斑	2	1	-	警報発令(R7.5.22発令)	0.29	1.20	0.80	0.33	4.32	0.33	0.71
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-	警報発令(R7.6.19発令)	1.57	5.00	2.20	5.00	2.95	1.44	3.00

### 【急増減疾患(前週比2倍以上増減)】

- 急増疾患 ヘルパンギーナ (18件 → 52件)
- 急減疾患 インフルエンザ (40件 → 20件)
- 水痘 (12件 → 5件)
- 突発性発しん (18件 → 7件)

## 2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	6	結核	6			3		3		
三類	4	腸管出血性大腸菌感染症	4	1				1		2
四類	2	日本紅斑熱	1			1				
		レジオネラ症	1					1		
五類	151	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2					1		1
		後天性免疫不全症候群	1						1	
		侵襲性インフルエンザ菌感染症	1							1
		侵襲性肺炎球菌感染症	1		1					
		梅毒	3					2		1
		百日咳	143	14	34	18		55	5	17

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hodc/>